



進路だより コンパス Compass

種子島中央高校 進路指導部

No.1

(通号 第118号)

令和4年4月25日

平成21年4月27日 第1号発行

～「協働」で、主体的・積極的に～

新年度がスタートしました。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校措置が取られ、例年とは異なったスタートとなっていました。今年度は、通常通りにスタートしたことを喜びたいと思います。しかし、国内では、変異株の急増や第4波の急拡大など、未だ先行き不透明な社会に、苛立ちや閉塞感を感じる人も多いのではないのでしょうか。

このような環境で社会は大きく変化し、リモートワークや時短営業など、従来では考えられなかったことがごく当たり前になりつつあります。教育現場でもITを活用した授業の在り方が模索されたり、入試制度においてリモートによる面接試験が実施されたりしました。特に昨年度は、直前になってそれぞれの大学等のスタイルで入試が実施され、学校現場や受験生の間でも不安や混乱が多少なりとも発生しました。このような変化に対応できるように、日頃から知識や技能を修得するだけでなく、それを活用し応用する力が試される時代になったと言っても過言ではないでしょう。

みなさんは、種子島中央高校での3年間で、進路先を決定するわけですが、それは必ずしもゴールではありません。その先にある社会人としての、さらには、よりよい人生を送るための進路選択はどうあるべきかを意識して行動を起こす事が必要です。進路便りのタイトルにある「Compass」とは、今日のように変化に富んだ世の中で、自分の進むべき道を見定めて、よりよい選択をするための「価値基準や行動指針」を示すと考えています。将来、自立した人間になるために、経済的な安定を維持できる人間であること、自己実現に向けて努力し続けられる人間であること、社会の変化に対応できる人間であることといった要素を身につけてほしい。この点では、保護者の方々も先生方も望むことは同じだと考えています。卒業時のことだけでなく、長い人生の先を見据えた在り方を考えて、日々の学校生活に主体的・積極的に取り組み、充実した時間をともに共有していきましょう。

進路実現のために取り組んで欲しい3つのこと

【学問・職業理解】

学問内容に関心を持ち、仕事内容に耐えうるか

【学校・企業理解】

学校の授業スタイルや支援体制、会社の勤務形態や福利厚生などに満足できるか

【自己理解】

人からの勧めでなんとなく選んだのではなく、本当に自分で選んだ（やりたかった）ことなのか

年間を通して行われる様々な進路的行事、さらにはLHR・総学・総探・普段の授業を通して、自分の進路実現のために、意識を高く持って取り組みましょう。

裏面へ⇒